



# ERINA REPORT (PLUS)

No.161

## ✓ 今号の見どころ

### 特集：北東アジアの FTA



・・・1 ページ

2021 年 1 月のバイデン政権の成立と米中貿易摩擦の激化によって、アジア太平洋地域の政治、経済の環境は大きく変容しつつあります。今号ではこのような状況における北東アジア諸国の政策に焦点を当て 3 本の論文を収録しました。

「米国抜きで進むアジア太平洋地域経済統合において高まる日本の役割」では、アジア太平洋における地域経済統合への動きの背後にある日米中の思惑や戦略について議論し、米国が TPP から離脱した状況の中での地域経済統合実現に向けての日本の役割について考察しています。

「RECP を通じた日中韓の貿易自由化：到達点と課題」では、RCEP が北東アジアの日中韓三国に与える影響に分析の焦点を当てて論じ、「韓国の FTA 政策と企業の FTA 活用支援策」では韓国の FTA 政策の現状を紹介しています。

### 2018 年～2020 年における新潟港、直江津港を經由した貿易動向

・・・24 ページ

財務省貿易統計等をもとに 2018 年～2020 年における新潟港及び直江津港の輸出入の状況を検証したレポートです。新型コロナウイルス感染症のパンデミック、米中摩擦、日韓関係の悪化など、経済にマイナスの事象が生じていますが、新潟県内港は日本の貿易全体が受けているほどの影響は見られないようです。

しかし、昨年末頃から海運業界ではコンテナ不足などが国際物流に大きな影響を与えており、県内港にもその影響が出ています。国際物流は県経済に重要な役割を担っていることから、今後も注意深く見守る必要があります。

